

(2/20 朝日)

沖縄振興予算 3000億円割れ 政府調整

政府が2023年度の沖縄振興予算について、2679億円を計上する方向で調整していることがわかった。決まれば22年度より5億円少なく、2年連続で3千億円を下回ることになる。複数の与党関係者が明らかにした。

今年9月の沖縄県知事選では、米軍普天間飛行場の立

名護市辺野古への移設反対を掲げる玉城デニー知事が、「政権与党とのバイブ」を掲げた候補を破り、

再選した。移設をめぐって

政府と県の対立が続く中で、政府による「締め付け」が続く形だ。

14年度は35501億円を確保したが、辺野古移設反対を訴える翁長雄志氏が知事に就任すると減額傾向に転じ、22年度は10年ぶりに3千億円を割り込んだ。

沖縄振興予算をめぐっては、13年に当時の仲井真弘多知事が辺野古沖の埋め立

(上地一姫、小木雄太)